

都市ビジョン

財政状況



令和5年10月



静岡市

第1部：静岡市の都市ビジョン

1. プロフィール	3
2. 第4次静岡市総合計画	9
3. 5大重点政策	10
4. SDGs推進に向けた取組	15
5. 脱炭素社会の実現に向けた取組	16
6. 地方創生と人口活力の向上	17
7. 危機管理の強化 ～防災・減災、国土強靱化～	18
8. 行財政改革の推進	19
9. <PR>しぞ～かふるさと応援寄附金	21

第2部：静岡市の財政状況

1. 決算 ～財政指標・財政健全化指標～	23
2. 決算の概要（普通会計）	25
3. 決算の推移（普通会計）	27
4. 市税の推移	29
5. 扶助費及び投資的経費の政令市比較	30
6. 市債の状況	31
7. プライマリーバランスの推移（普通会計）	34
8. 基金の状況	35
9. 投資的経費の推移	36
10. 財政の中期見通し	37

（表紙の写真）右上から時計回りに

静岡市役所静岡庁舎前に設置されている「プラモニュメント」

令和6年4月完成予定の「御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発ビル」（イメージ）

富士山を望む清水区吉原地区の茶畑

令和8年度供用開始予定の「（仮称）海洋・地球総合ミュージアム」

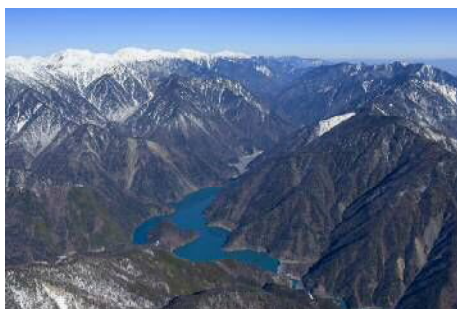
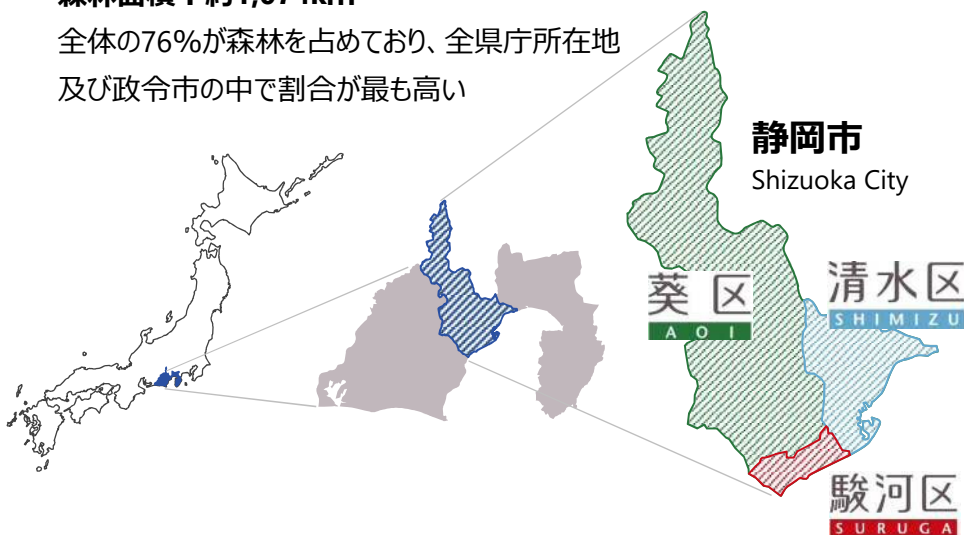
第1部

静岡市の都市ビジョン

面積

南北に広がる広大な面積

- **市域面積：約1,412km² 都市計画区域面積：約235km²**
市域面積は全国市区町村で6番目、政令指定都市では2番目の広さ
- **森林面積：約1,074km²**
全体の76%が森林を占めており、全県庁所在地及び政令市の中で割合が最も高い



南アルプスに囲まれる井川地区（葵区）

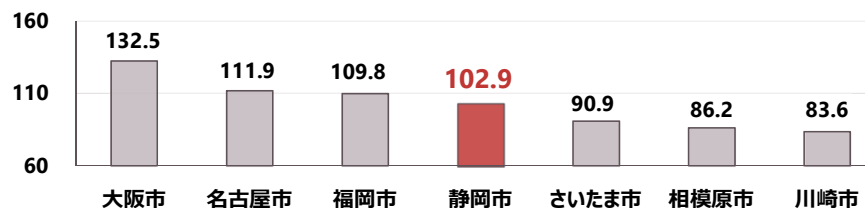


富士山を望む駿河湾（駿河区・清水区）

人口

昼夜間人口比率は政令市の中で中位以上に位置

- **人口：679,673人**
住民基本台帳人口（日本人+外国人） 令和5年8月末日現在
- **昼夜間人口比率：103.1**
政令指定都市中第7位 総務省「国勢調査」（令和2年度）



気候

温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- **年間平均気温：18.3℃**
- **年間平均気温差：21.7℃**
平均気温の最低月、最高月の気温差が政令市中最も小さい
- **年間日照時間：2,239.7時間**
政令市中2番目に長い

出典：気象庁「気象観測データ」（令和5年度）



プロフィール ～広域な都市圏の中心～

静岡大都市圏および商圏人口

- **大都市圏人口：約139万人**
中心市（静岡市）と、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ中心市と接続している市町を加えたもの
- **商圏人口：約155万人**
消費需要（購買力）の5%以上を吸引している地域

商圏の核となる中心区域に立地する主な大型商業施設

マークイズ静岡	30,000㎡
新静岡セノバ	27,765㎡
松坂屋	24,372㎡
静岡パルコ	22,036㎡
静岡伊勢丹	21,525㎡



静岡市中心市街地の様子（新静岡セノバと七間町通り）

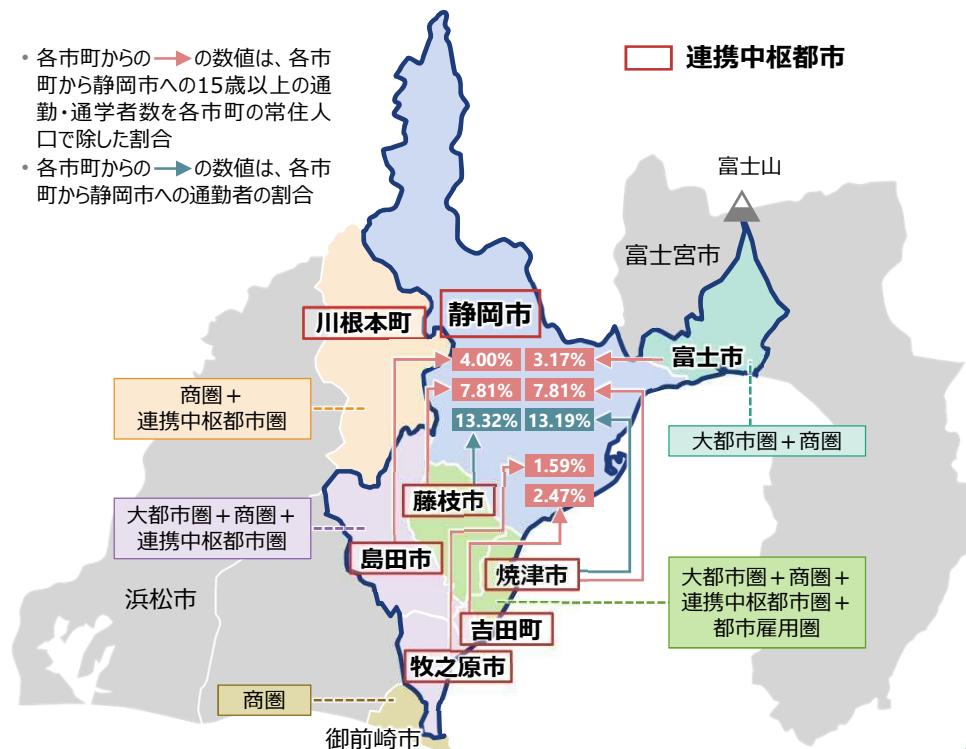
静岡都市圏としずおか中部連携中枢都市圏

- **静岡都市圏人口：約97万人**
通勤者のうち、10%以上が静岡市に通っている市町の人口
- **しずおか中部連携中枢都市圏人口：約115万人**
静岡県内中部5市2町から形成（静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町）

資料：総務省「国勢調査」（令和2年度） 静岡県「静岡県の消費動向」（平成19年）

静岡市への人の流れ

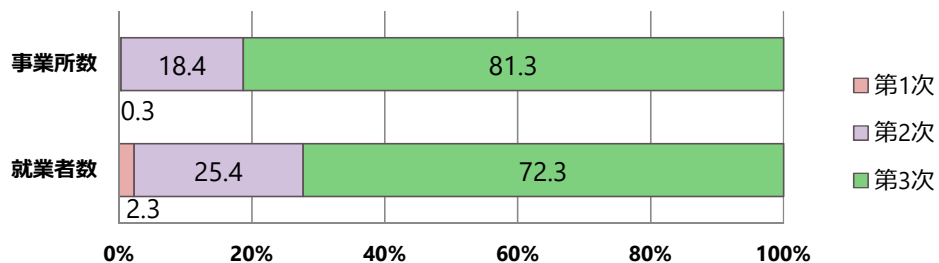
- 各市町からの→の数値は、各市町から静岡市への15歳以上の通勤・通学者数を各市町の常住人口で除した割合
- 各市町からの←の数値は、各市町から静岡市への通勤者の割合



産業構造

- 温暖な気候、広大な面積を活かした多彩な産業の集積地
- 第3次産業の商業を中心とした「商都・静岡」
- 清水港周辺を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

事業所数・就業者数



出典：総務省「令和3年経済センサス活動調査」「国勢調査」（令和2年）



うんしゅう

温暖な気候で栽培される温州みかん



静岡市内で製造される金属部品（鍛造業）

産業の集積

- 各産業の付加価値において政令指定都市内で上位に位置

商業（卸売+小売）の人口1人当たり付加価値

第1位	大阪市	1,320千円	第4位	仙台市	684千円
第2位	名古屋市	817千円	第5位	広島市	551千円
第3位	福岡市	684千円	第9位	静岡市	479千円

製造業の人口1人当たり付加価値

第1位	浜松市	621千円	第4位	大阪市	454千円
第2位	堺市	484千円	第5位	北九州市	378千円
第3位	静岡市	483千円	第6位	京都市	359千円

農林漁業の人口1人当たり付加価値

第1位	新潟市	12.4千円	第4位	相模原市	3.2千円
第2位	浜松市	9.1千円	第5位	岡山市	2.8千円
第3位	熊本市	4.2千円	第6位	静岡市	2.5千円

※付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課：商業における営業利益と人件費などの合計。

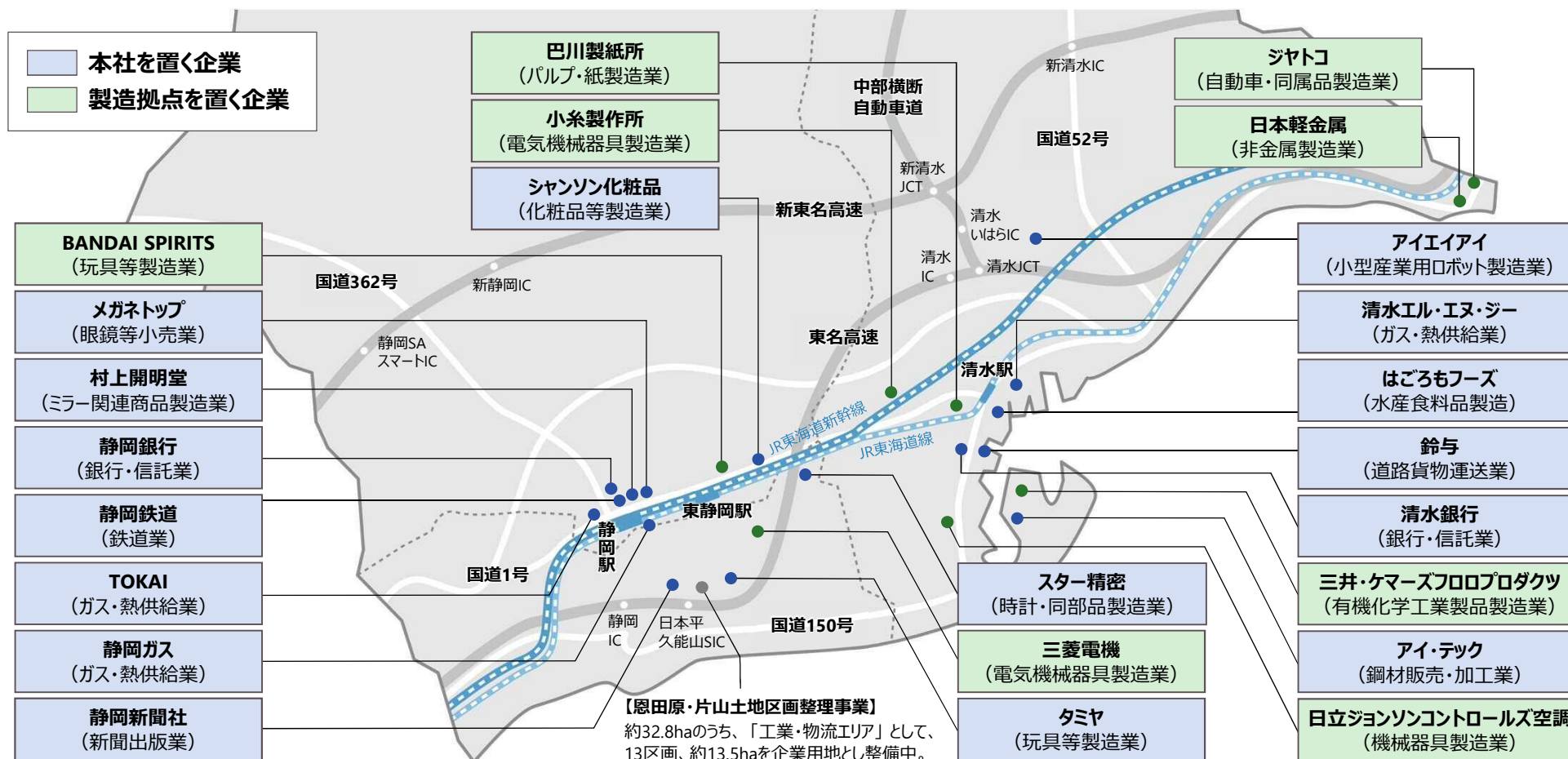
付加価値が大きいほど、顧客吸引力のある都市であることを表し、安定した雇用と税収が確保できる。

出典：総務省「令和3年経済センサス活動調査」「国勢調査」（令和2年）

市内に立地する主な企業

- 特定企業に傾斜しないため、特定企業の業績に左右されない傾向にあるが、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少に伴い占有率が減少

法人市民税税収全体に占める上位10社の割合	2年度	3年度	4年度
	17.5%	13.7%	19.8%



氏名

難波 喬司

(なんば たかし)



主な経歴

- 昭和31年7月 岡山県生まれ
- 昭和56年3月 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻修了 同年4月 運輸省入省
- 平成17年2月 工学博士
- 平成25年1月 国土交通省大臣官房技術総括審議官
- 平成26年5月 静岡県副知事（2期8年）
- 令和5年4月 静岡市長に就任

新市長が目指す社会の姿

「安心感がある温かい社会」を「共創（みんなで一緒に、共に創っていく）」で実現

- 目指す社会の姿を考えるときに重要なこと：その地域の特徴、特性、強みを意識すること
静岡市の固有の魅力：「美しく豊かな自然環境と温暖な気候」、「歴史性が根付いた文化力」、「温かい人のこころと絆」、「多様で深みのある産業力による経済的活力」等
- 中でも、「温かい人のこころ」は静岡市の絶対的強み → 静岡市固有の強みを活かした、「安心感がある温かい社会の実現」
- 地域にある「社会の大きな力（社会を良くしたい思いと行動）」と「世界の大きな知」が繋がることで、社会問題の解決や新たな価値・魅力が創出
→ 「社会の大きな力」と「世界の大きな知」がうまく繋がり、共に創る「共創」ができるよう、それらを下支えし、伴走する「温かい市政」を推進



市政運営方針

「根拠と共感に基づく政策執行」による「温かい市政」

- 現在の大変革期（地球環境の世紀×知能革命の時代×人口減少社会）においては、時代の変化に適応できる市政に変化し続けていくことが必要
→ 思いつき、思い込みの政策やこれまでの延長線上の政策だけでは通用しない
- 「論理」と「根拠」に基づく実行方法をわかりやすく社会に提示し、地域社会や市民の共感を得て実行する「**根拠と共感に基づく政策執行（EEPI）**」が重要
(EEPI : Evidence and Empathy based Policy Implementation)

静岡市社会の大きな力と知を活かした根拠と共感に基づく市政変革研究会の設置（令和5年5月）

- DX、GX、BXをはじめとした社会経済の将来動向や最新の科学技術に精通した13名の有識者を委員に迎え、新たな時代に即した政策・施策を立案
- 研究会での議論を通じて、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」の融合により、新しい方法で課題解決をし、新たな価値・魅力を創出（**共創の静岡モデル**）

設置の
ねらい

「社会の大きな力がつながる」 × 「世界の大きな知が集まり、つながる」
 つながりを下支えする温かい市政 × 結果が出るよう、伴走する温かい市政



「共創の静岡モデル」の構築

- 研究会において、喫緊の課題をテーマとした10項目の「分科会」を設置
- 若手・中堅職員が橋本 正洋氏（法政大学大学院政策創造研究科教授）等、各分野の有識者と密接に議論を重ね、各分野の有識者の知見を取り入れながら、課題解決のための政策の立案に向け研究

分科会 テーマ	DX① 次世代防災	DX② デジタル行政	DX③ 都市・交通	B X	G X① 脱炭素社会	G X② 農と食	ウェルビーイング	デジタルヘルス	新共助社会	子育て教育
------------	--------------	---------------	--------------	-----	---------------	-------------	----------	---------	-------	-------

基本構想

「世界に輝く静岡」の実現

まちづくり
の目標

目指す 都市像

「市民(ひと)」が輝く

静岡市に暮らす市民一人ひとりが、
輝いて、自分らしい人生を謳歌できるまち



「都市(まち)」が輝く

静岡市が擁する地域資源を磨き、
輝かせ、世界から注目され、人々が集まるまち

基本計画

人口活力を高め、まちと暮らしを豊かにする

重点
目標

横断的 な視点	ジェンダー平等の推進		多文化共生の推進		デジタルトランス フォーメーション (DX) の推進	グリーントランス フォーメーション (GX) の推進	
	①健康・福祉		②子ども・教育		③防災・消防	④生活・環境	⑤文化・スポーツ
分野別 の政策	⑥観光・交流		⑦商工・物流		⑧農林水産	⑨都市・交通	⑩社会基盤
	子どもの育ちと長寿を 支えるまちの推進		アートとスポーツが あふれるまちの推進		城下町の歴史文化を 守り抜くまちの推進	港町の海洋文化を 磨き上げるまちの推進	オクシズの森林文化を 育てるまちの推進
5大 重点政策							

5 大重点政策 ～子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進～

目指す
姿

子どもから高齢者まで、誰もが心身ともに健康で人生を楽しみながら、自分らしく活躍し、暮らすことができるまちづくり

第2子以降の保育料完全無償化

- きょうだいの年齢や世帯の所得に関係なく、第2子以降の子どもにかかる保育料を無償化
- 安心して子どもを生み育てることができるよう、子育て世帯の経済的負担を軽減



第2子以降の保育料完全無償化は政令指定都市初の取組

伴走型相談支援事業

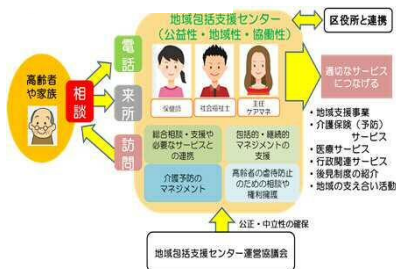
- 妊娠届出時、出産後の相談支援実施後に5万円給付し、相談支援と経済的支援を一体的に実施
- 出産後も相談支援を希望した子育て世帯等に相談員を派遣し、妊娠から出産・子育てまで一貫して寄り添った支援を実施



伴走型相談支援事業（イメージ）

地域包括ケアシステム推進事業

- 市内30の日常生活圏域において、地域包括支援センターを運営し、高齢者やその家族を支援
- 医療、介護、地域住民の連携による支援体制を強化し、医療、介護が必要な高齢者も住み慣れた自宅で最期まで暮らせる体制を構築



認知症ケア推進体制整備事業

- 全国的に珍しい、認知症に特化した施設である「かけこまち七間町」を運営、相談対応の他、認知症の人の交流を支援
- 産学官民の連携により、認知症本人や家族の支援の充実と全世代に向けた理解促進を図る体制を構築



静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」

目指す
姿

「文化芸術」と「スポーツ」の力を生かして、市民の暮らしが豊かになるとともに、国内外の人々が活発に交流するまちづくり

静岡市プラモデル化計画推進事業

- 「静岡ホビーショー」へ小中高生を招待し、プラモデルを体験できる場を提供する等、プラモデルに関わる機会を創出
- プラモデルを活用して官民一体でシティプロモーションを行い、「模型の世界首都・静岡」の認知度向上を図る



市内に設置されたプラモニュメント
令和5年度に自治体初となる
「広告電通賞」総合賞を受賞

賑わい創出イベント（春夏秋冬フェス）

- 年間通してイベントを開催し、市の魅力を広く市内外に向けて情報発信するとともに、まちの賑わいを創出
- 交流人口の増加による地域経済の活性化を図っていく「まちは劇場」を推進



4月に開催される「静岡まつり」と
7月に開催される「安倍川花火大会」

ホームタウンチーム活用推進事業

- ホームタウンチームのホームゲームにおいて、本市の地域資源の啓発と併せて誘客促進イベントや啓発品配布を実施
- 清水エスパルスをはじめとするホームタウンチームに対する市民の応援機運を醸成



清水エスパルスのホームスタジアム
「IAIスタジアム日本平」

野球を活かしたまちづくり推進事業

- 「静岡野球ウィーク」など、野球大会や各種イベントの開催により市民の野球熱の醸成を図る
- 2024年シーズンよりNPBへ参加が内定している「ハヤテ球団（仮）」の清水庵原球場本拠地化に賛同し、本拠地化を推進



「ハヤテ球団（仮）」の
本拠地（予定）となる清水庵原球場

5大重点政策 ～城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進～

目指す姿

徳川氏を中心とした本市の歴史に対して市民が誇りと愛着を抱くとともに、国内外の人々が駿府城公園周辺の静岡都心を訪れ賑わうまちづくり

大河ドラマ活用推進事業

- 令和5年1月より放送の大河ドラマ「どうする家康」を契機として大河ドラマ館を開設、全国から観光客を呼び込む
- 併せて物販店の運営や地元事業者の商品開発・販売促進の支援を実施し、地元経済の活性化を図る



「どうする家康 静岡 大河ドラマ館」
(令和5年1月 開設)

歴史博物館管理運営事業

- 歴史探求・地域学習・観光交流の拠点となる「静岡市歴史博物館」が令和5年1月にグランドオープン
- 博物館を訪れる人々が、本市にあこがれや愛着を持てるような施設を目指していく



静岡市歴史博物館
(令和5年1月 グランドオープン)

ナイトツーリズム推進事業

- 夜間景観整備計画に基づき、ナイトツーリズムの核となる魅力的な夜間景観の整備を推進
- 日本夜景遺産・日本平の夜景を活かした、民間と連携したイベントの開催等、観光客の市内滞在時間を延長、観光消費拡大を図る



駿府城公園エリアの夜間景観整備事例（東御門・翼櫓等）

御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業

- 再開発によりJR静岡駅北口の新たな賑わい拠点を創出
- 専門学校誘致とともに、再開発事業と併せて地下道昇降口の再開発ビル取込みや無電柱化を施工し、再開発ビルと一体となった周辺都市機能の更新を推進



再開発事業の整備イメージ
(令和6年4月 完成予定)

目指す姿

清水港に集積するオンリーワンの地域資源を活かして、海洋産業や海洋研究が発展するとともに、国内外の人々が交流し賑わう「国際海洋文化都市」を目指すまちづくり

海洋文化施設建設事業

- 「国際海洋文化都市・清水」の実現に向けて、清水区・日の出地区にシンボル施設となる「（仮称）海洋・地球総合ミュージアム」を建設
- 水族館と博物館の垣根を超えた新たな視点のミュージアムとして整備



（仮称）静岡市海洋・地球総合ミュージアムの整備イメージ（令和8年度完成予定）

清水港客船誘致事業

- 寄港する客船の歓迎事業や、船会社や旅行代理店等への客船誘致活動を実施
- 清水港に客船や帆船を誘致することにより、賑わいを創出し市民が憩い親しめる港づくりを推進



清水港を出港する客船（お見送りの様子）

清水港活用促進事業

- 清水港への新たなコンテナ航路の誘致への助成等、国内・海外でポートセールスを実施
- 荷主や船社へのインセンティブやPR活動により清水港の利用促進を図り、貨物取扱量を増加させ、経済の活性化に繋げる



清水港での荷役の様子

海洋産業クラスター創造事業

- 産学官が連携し、海洋関連産業の事業化のためのマッチング支援、情報発信、人材育成を実施
- 海洋関連産業における新事業創出及び既存事業の高度化を目指し、本市経済を支える主要産業へと磨き上げる



産学官の連携により地域ブランド化した「三保サーモン」

目指す姿

オクシズが都心と支え合い、住み続けられる地域になるとともに、自然環境と森林を活かした賑わいが生まれ、持続的な経済活動が営まれるまちづくり

梅ヶ島新田温泉改修事業

- 国民保養温泉地に指定されている梅ヶ島温泉郷の「黄金の湯」を改修（浴場解体、建替）
- 改修により快適な入浴環境を提供するとともに、解体後の跡地については賑わいエリアとして再整備を検討し、誘客促進を図る



梅ヶ島新田温泉「黄金の湯」
(令和6年度 リニューアル予定)

暮らし続けることができるオクシズ構築支援事業

- 山間地（オクシズ）地域において、移動販売車を活用した買い物場を提供
- 「地域で安心して暮らし続けることができる環境」の構築に向け、生活に必要な機能の維持・活用を図る



オクシズ地域での買い物の場構築支援

道路新設改良事業

- （仮称）両河内スマートインターチェンジアkses道路、（仮称）有東木トンネルの整備等、オクシズへのアクセスを強化
- オクシズの生活利便性向上に寄与する社会基盤整備を推進



スマートインターチェンジ開設予定の
清水区両河内地区
(令和5年度より整備着手)

南アルプスユネスコエコパーク活用推進・賑わい創出事業

- エコパークの魅力を伝えるエコパークガイドの配置、高山植物保護セミナー、市民参加による生き物調査等、市民がエコパークを訪問する機会を創出
- 自然環境の保全活用と地域の賑わい創出を推進



高山植物保護セミナーでの
植生調査の様子

Point

平成30年6月に日本政府から「SDGs未来都市」に選定、同年7月には国連からアジア初となる「SDGsハブ都市」に選定
SDGsの理念を政策・施策に取り込み、公益性と事業性の両立を図りながら「世界に輝く静岡」の実現を目指す

「SDGs推進 TGCしずおか」の開催

「SDGs推進 TGC しずおか2024 by TOKYO GIRLS COLLECTION」
令和6年1月13日 ツインメッセ静岡で開催（予定）

- 2030年の社会で中心的な役割を担う若者が、SDGsについて考え、達成に向けた行動を促進する機会を創出するため、東京ガールズコレクション主催者と共催で「SDGs推進 TGC しずおか2023 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を令和5年1月に開催
- 会場別館では連携イベントとして「SDGs COLLECTION」を開催
- 市内企業、高校等が来場者に向けてSDGsの取組等を発信



令和5年1月開催時の様子（グランドフィナーレ）

SDGsユースサミットの開催

「第2回静岡市SDGsユースサミット」 令和4年10月31日開催
来場者30名 オンライン77名参加

- SDGsを先進的に取組む若者が自らの取組をプレゼンテーション
- 出演者と来場者のポスターセッションにより同世代の若者が行動を起こすきっかけを創出
- 発表・セッションの様子はオンライン配信により国内外から視聴可能
- イベントを通じて若者同士や企業と連携することの重要性を発信



第2回静岡市SDGsユースサミット（令和4年10月開催）

Point

令和4年4月、全国に先駆けて「脱炭素先行地域（第1回）」に選定
2050年の長期目標を温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）に設定し、脱炭素の基盤整備を推進

脱炭素先行地域再エネ設備等導入事業

令和8年度各エリア整備完了、モデル事業として他地域へ水平展開（予定）

- 脱炭素先行地域に指定された「恩田原・片山エリア」、「日の出エリア」の基盤整備
- 恩田原・片山エリアではPPA（第三者所有）モデルによる太陽光発電設備を推進
- 日の出エリアではEMSシステムを活用した地域マイクログリッドを構築
- 単に再生可能エネルギーの導入に留まらない、地方創生の取組として整備を推進



整備を進める恩田原・片山エリア（駿河区）

グリーン電力地産地消推進事業

令和5年度 戸建住宅PPA支援80件、産業用PPA5件支援（予定）

- PPA（第三者所有）モデルによる市内太陽光発電設備の整備を助成
- 太陽光の余剰電力を脱炭素先行地域へ供給するための設備を設置し、好循環を創出
- 発電した電力を静岡市域内で消費する先導的モデルを早期に確立し、自然環境の保全を図りつつ社会の持続的発展を目指す



市内に整備された太陽光発電設備（整備のイメージ）

Point

静岡市に住む人に加え、静岡市を訪れ、静岡市と関わる多様な人々の力を都市の活力に変えながら、まちと暮らしを豊かにする取組を推進（定住人口の増加・交流人口の拡大・関係人口の創出）

静岡市への移住・定住の推進

移住相談後の静岡市への移住者 令和4年度実績 255名（前年度比+61.3%）

- お試しテレワーク体験（地方移住を検討している首都圏企業社員等に向けたテレワーク体験）
- 地域おこし協力隊員の活用（地域外人材の知識・スキルを活用して首都圏からの移住を促進）
- お試し住宅の提供（具体的に移住を検討している方に対し、静岡市に滞在する機会を提供）
- 静岡市移住支援センターの運営（首都圏における本市移住に関する情報発信・相談等の拠点）



お試し住宅の提供（清水区船原地区）

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）の活用

令和4年度寄附額実績 49,450千円 令和5年度寄附額目標 200,000千円
投資家の皆さま、静岡市の地方創生の取組に寄附をお願いします！（令和6年度まで）

- 寄附企業の税額控除だけでなく、地域課題の解決に向けた民間企業との関係性構築にも寄与
- ＜令和5年度現在の主な寄附募集事業＞
- 静岡市プロスポーツチーム等連携プロジェクト（イベント開催事業等スポーツを活かしたまちづくり）
 - 静岡市プラモデル化計画（プラモニュメントの設置等）
 - 未来につなごう「お茶のまち静岡市」プロジェクト（お茶の認知度向上、販路拡大を図るPR事業）

静岡市をホームタウンとする
プロスポーツチーム



▲ベルテックス静岡
（男子バスケットボール・Bリーグ）



▲静岡ブルーレヴズ
（男子ラグビー・リーグワン）

S-PULSE

▲清水エスパルス
（男子サッカー・Jリーグ）

CHANSON
V-MAGIC

▲シャンソンVマジック
（女子バスケットボール・Wリーグ）

SHIZUOKA
JADE

▲静岡ジェード
（男子卓球・Tリーグ）

Point

令和4年9月の台風15号による被害から得た課題や教訓に基づき、市民の生命・財産・暮らしを守り抜く取組を推進
防災・減災、国土強靱化を推進し、強くてしなやかな静岡を実現

令和4年台風15号の被災状況

七夕豪雨（昭和49年）以来となる大規模災害

- 日最大24時間降雨量：416.5mm 1時間最大降水量：94mm
- 全壊：3棟 半壊：2,194棟 半壊に至らない被害：2,695棟
- 床上浸水：3,221世帯 床下浸水：1,617世帯
- 道路被害：1,184箇所 河川被害：876箇所
- 断水被害：最大63,000世帯 停電被害：最大117,050戸



承元寺取水口への流木等流入



農道具伏宝ノ窪線の崩土被害

市民の安全・安心を確保するためにスピード感を持って取り組む3つの課題

渋川雨水ポンプ場 令和9年度完成予定 大沢雨水幹線 令和12年度完成予定
防災情報ポータルサイト：令和5年4月開設 静岡型「災害時総合情報サイト」令和6年10月提供予定

● 巴川流域などの治水機能の強化

浸水対策事業（大沢雨水幹線の築造、渋川雨水ポンプ場整備等即効性のある浸水対策）

● 給水インフラの強化

水道の災害対応・体制強化事業（被災した取水口の整備、新たな水源案抽出、給水拠点整備）

● 災害時の情報収集と発信体制の強化

静岡型「災害時総合情報サイト」構築事業（災害情報の収集・整理・発信の体制整備を推進）



渋川雨水ポンプ場（完成イメージ）

第1次行財政改革推進大綱・同実施計画（H17～H21）

効果額：合計392億円（収入増：58億円 節減：334億円）

- 公共工事のコスト縮減 約163.5億円（工事コスト縮減など）
- 人件費等の見直し 約 93.3億円（定員管理による人員削減）
- 自主財源の確保 約 57.9億円（使用料・手数料見直し）

第2次行財政改革推進大綱・同実施計画（H22～H26）

効果額：合計555億円（収入増：65億円 節減：490億円）

- 公共工事のコスト縮減 約236.0億円（長寿命化の推進）
- 人件費等の見直し 約112.2億円（定員管理による人員削減）
- 地方公営企業の経営改善 約 62.1億円（補償金免除繰上償還の活用）

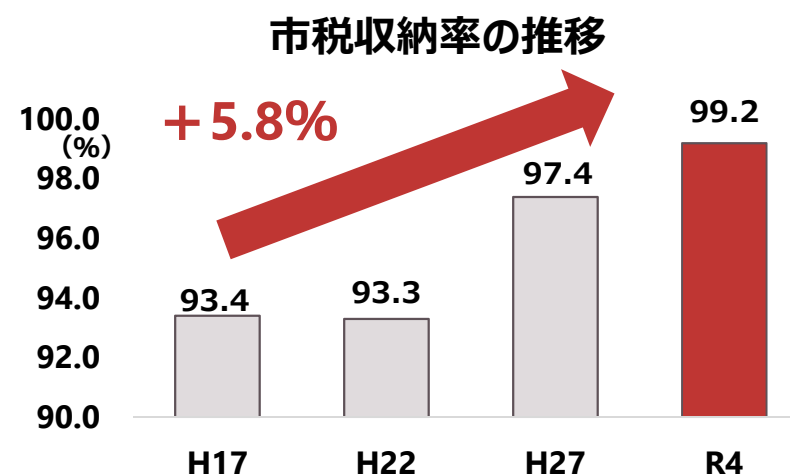
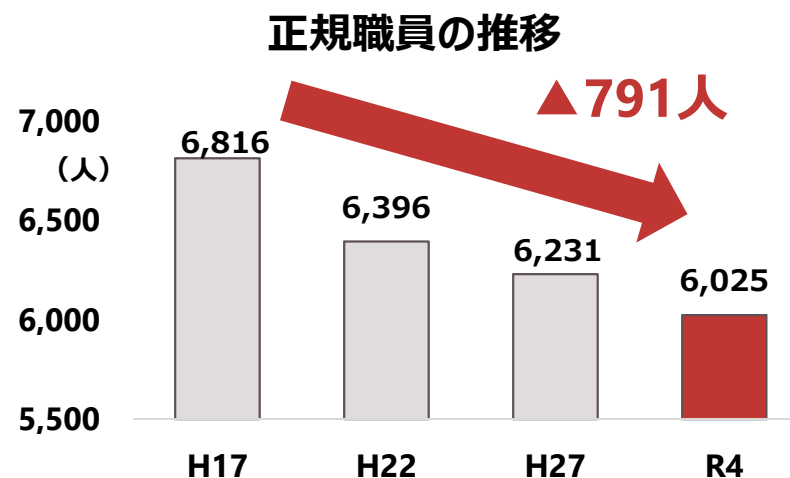
第3次行財政改革推進大綱・同実施計画（H27～R4）

効果額：合計525億円
（収入増：240億円 節減：148億円 将来負担軽減：137億円）

- 自主財源の確保 約125.5億円（市税収納率の向上）
- 予算の定期点検 約104.1億円（経常枠配分見直し等）
- 事務事業の見直し 約 17.9億円（見直しによるコスト削減等）

第1次～第3次行財政改革の成果

「量」に着目した行財政改革は着実に推進



大綱策定に向けた考え方

変化のスピードがより激しく、より一層先を見通すことが難しい時代を前提とした行財政運営へ

- 本格的な人口減少社会の突入とともに、新型コロナウイルス感染症を契機としてデジタル化が加速している
- 社会変化のスピードはより激しくなり、社会変化の機微を察知するとともに、その変化に対し柔軟かつ迅速に対応できる行政であることが求められる
- デジタル技術の活用による生産性の向上や高い付加価値の創出といった、更なる改革の可能性がある「質」に着目した行財政改革を推進

第4次行財政改革大綱の基本理念（2040年を見据え目指す行財政運営の姿）

市役所が変化に迅速かつしなやかに対応できる頼もしい組織となり、市民、企業等との連携により新たな価値を創造する、行財政運営の推進

- 長期的な展望に立ち、市民に最適な行政サービスを創出し続けるために、変化に迅速かつ、しなやかに対応できる頼もしい組織へと変化

第4次行財政改革大綱の4つの基本方針・主な取組（目指す姿の実現に向けた改革の方針）

① 人とつながる

- 市公式ウェブサイトの全面リニューアル、災害関連情報の伝達体制の強化

② 仕事の仕組みを変える

- 行政手続きのオンライン化の推進、テレワーク・ペーパーレス化の推進

③ 人や組織が変わる

- 行政DXに向けた庁内デジタル人材の養成、安全管理体制を構築した災害対応力の強化

④ 財政基盤を堅持する

- 中長期的な視点に立った健全な財政運営、ふるさと寄附金・企業版ふるさと納税の推進

前期実施計画（R5～R8）効果額（見込）

（億円）

年度	R5	R6	R7	R8	前期計
収入増	17.7	24.3	22.1	24.5	88.6
削減	5.1	7.7	7.7	9.2	29.7
将来負担 軽減	1.6	1.7	1.6	1.7	6.6
合計	24.4	33.7	31.4	35.4	124.9

<PR> しぞ〜かふるさと応援寄附金

【お問い合わせ先】 財政課資金係 (054-221-1536)

静岡市 ふるさと納税 からお申込み下さい！

主な返礼品ラインアップ

- 静岡市の「素敵」を「しぞ〜かふるさと応援寄附金」を通じてお伝えします。

人気
No.1



カップスープ

レンジで1分、大きめカットの国産野菜がゴロゴロ入った贅沢スープ。保存料・化学調味料・合成着色料不使用の優しい味わい。全品200キロカロリー以下なので、遅く帰った夜食でも罪悪感0のヘルシースープです。



缶詰

全国シェア1位を誇る「ツナ缶」をはじめとした、様々な種類の缶詰が楽しめます。缶詰は長期保存が可能な常備食であるため、災害時の備蓄にも適しています。



ペットフード

テレビCMでおなじみのペットフード。新鮮なマグロやカツオをふんだんに使っています。健康に配慮しつつ美味しさも追求しており、大切な家族とのコミュニケーションフードにぴったりです。

Check!



エアコン・冷蔵庫

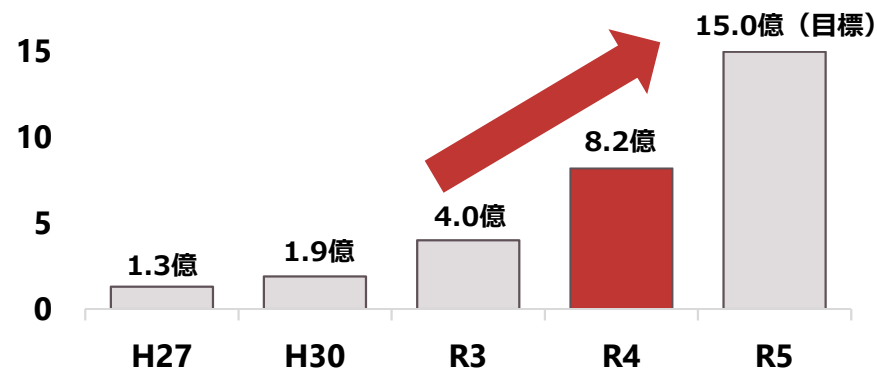
静岡市内で製造された高品質の家電製品。エアコンは6畳〜20畳以上のもので、冷蔵庫は観音開き・大容量モデル等それぞれ幅広く取り揃えています。

寄附金の使い道

- 5大重点政策
- D X・G Xの推進
- 人口活力の向上
- 危機管理の強化
- 祭りやイベントによる賑わいあふれるまちづくり

寄附実績

令和4年度は前年度比で倍増



第2部

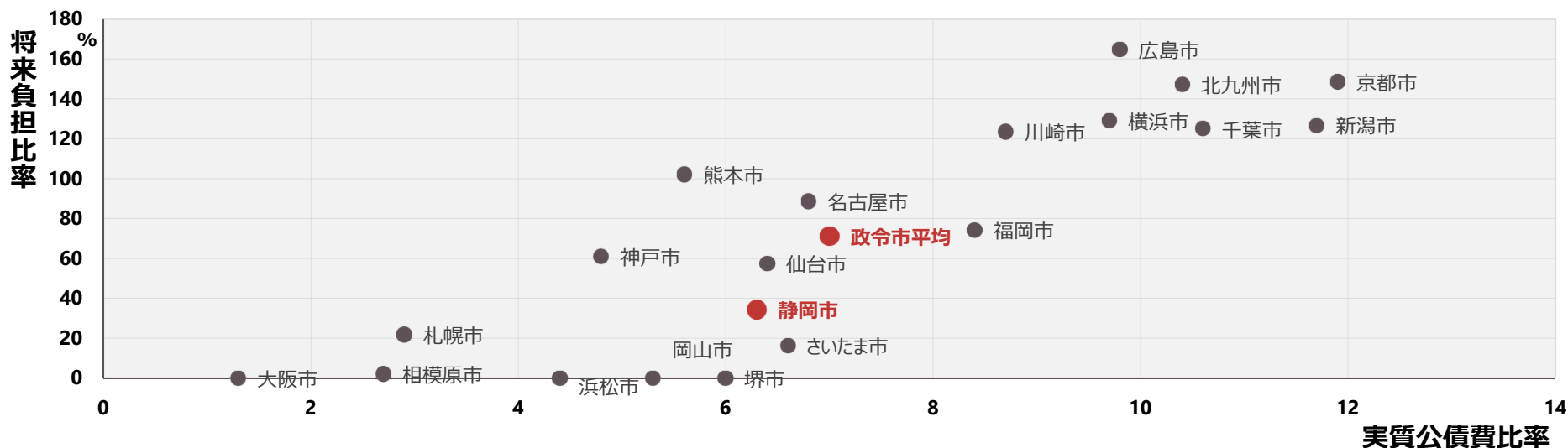
静岡市の財政状況

Point 全ての健全化判断比率において基準・政令市平均を下回り、公営企業でも資金不足は生じていない

本市の健全化判断比率（令和4年度決算数値）

指標名	説明	静岡市	早期健全化基準	財政再生基準	【参考】政令市平均
実質赤字比率	標準財政規模に対する「一般会計等」の実質赤字額の割合	—	3.75%	5.00%	—
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する「全会計」の実質赤字額の割合	—	8.75%	15.00%	—
実質公債費比率	標準財政規模に対する「一般会計等」の元利償還金及び準元利償還金の割合（3カ年平均）	6.3%	25.0%	35.0%	7.0%
将来負担比率	標準財政規模に対する「一般会計等」が将来負担すべき実質的な負債の割合	34.3%	400%	—	77.1%
資金不足比率	事業の規模に対する資金不足額の割合（「公営企業会計」ごと算定）	—			

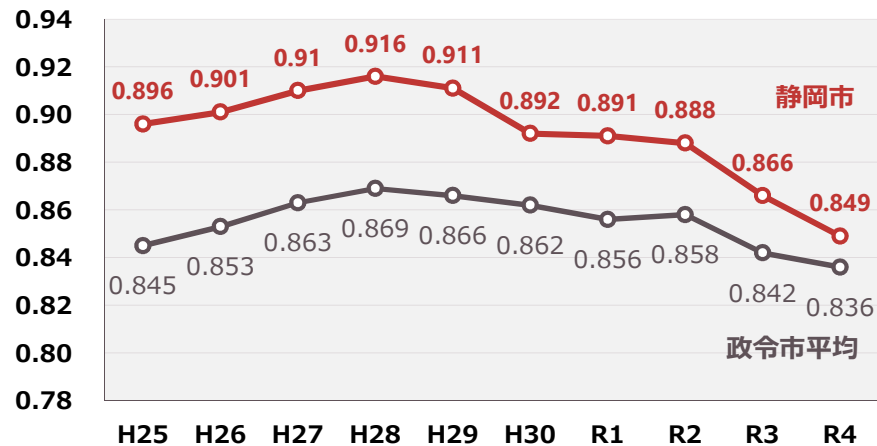
実質公債費比率と将来負担比率の政令市比較



Point 健全化判断比率のほか、財政状況を表す主要な指標は、政令市平均と比べ良好な値で推移

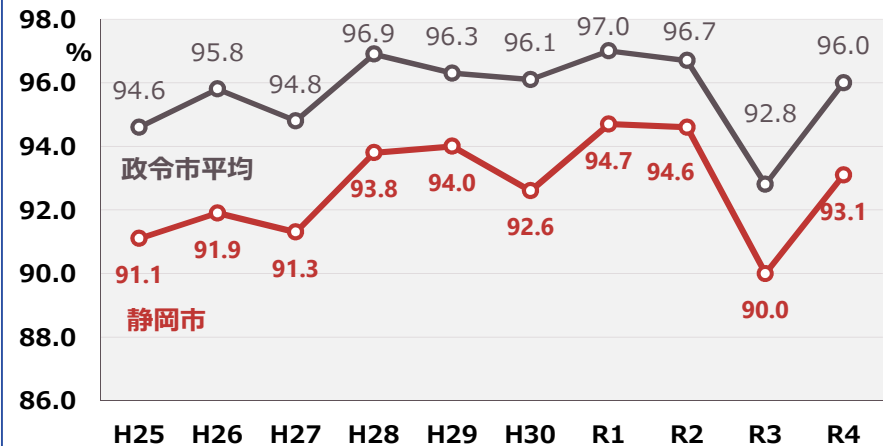
財政力指数

数値が高い＝留保財源が大きく財源に余裕がある
H28をピークに減少傾向



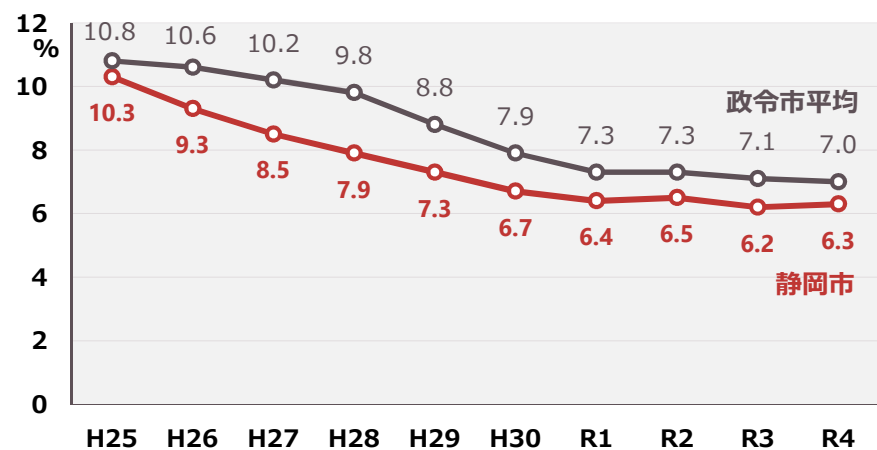
経常収支比率

数値が低い＝財政構造に弾力性がある
R4は悪化も、引続き政令市平均を下回る



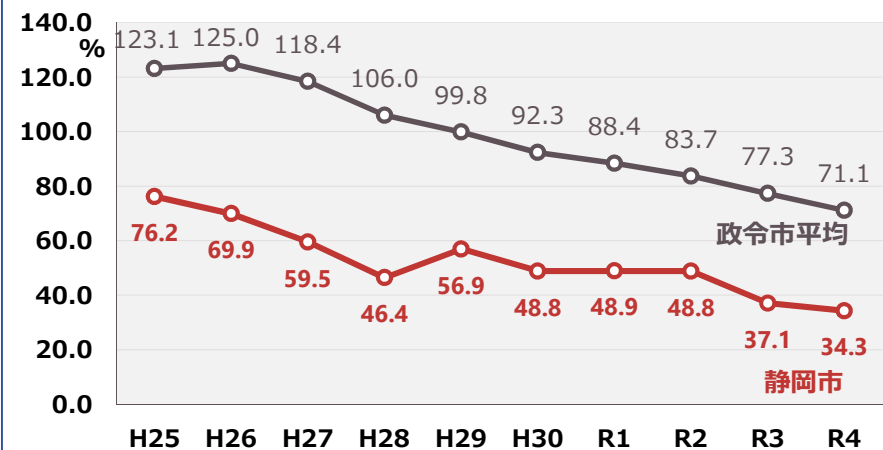
実質公債費比率

数値が低い＝公債費以外に活用できる資金が多い
近年はほぼ同水準で推移



将来負担比率

数値が低い＝将来への負担が少ない
H29をピークに減少傾向



決算 ～決算の概要（令和4年度普通会計決算 歳入）～

Point

①

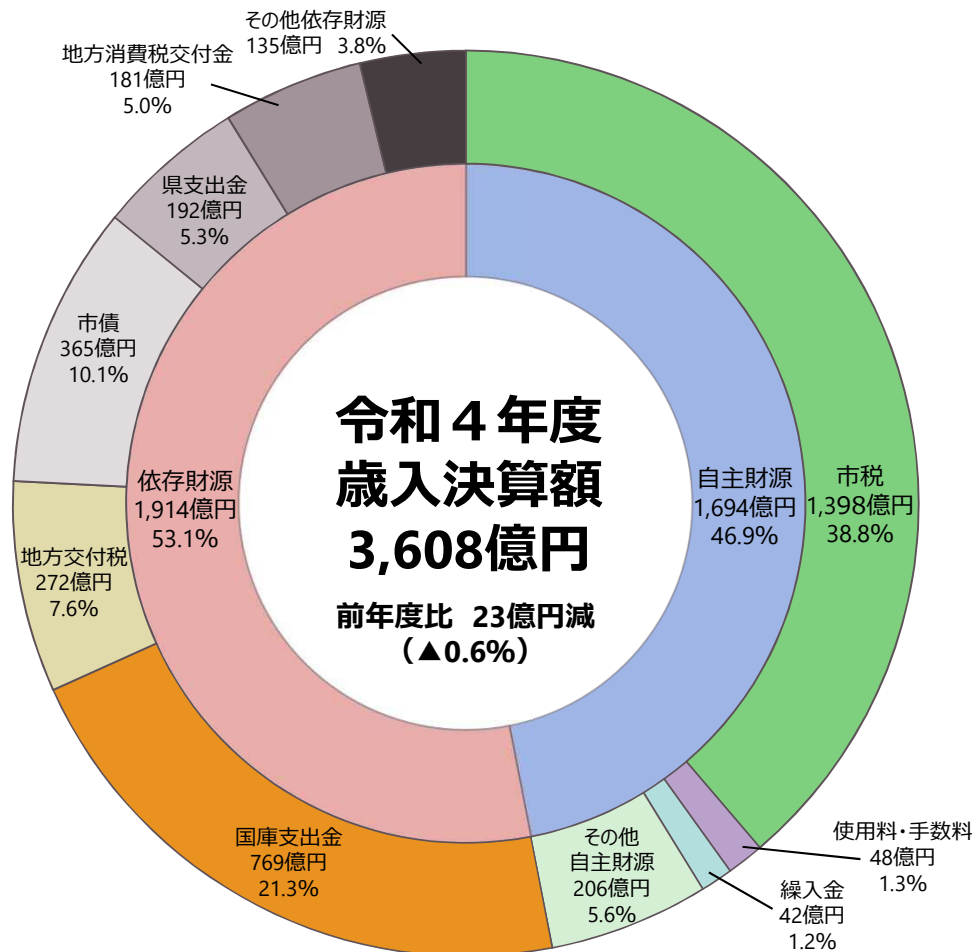
市税：コロナ対策の特例減免の終了による固定資産税の増等により、前年度比19億円（1.4%）増

Point

②

国庫支出金：子育て世帯等への臨時給付金の終了等により、前年度比84億円（9.9%）減

地方交付税：災害復旧に対する特別交付税の増等により、前年度比10億円（3.8%）の増



主な歳入の状況（億円）

	R 4	R 3	増減	増減率
市 税	1,398	1,379	19	1.4%
個人市民税	568	567	1	0.0%
法人市民税	80	81	▲1	▲1.7%
固定資産税	536	522	14	2.7%
国庫支出金	769	853	▲84	▲9.9%
地方交付税	272	262	10	3.8%
普通交付税	248	250	▲2	▲0.7%
特別交付税	24	13	11	92.1%
市 債	365	360	5	1.1%
臨時財政対策債	130	175	▲45	▲26.1%
その他	235	185	50	26.9%
県支出金	192	181	11	6.3%
地方譲与税・県税交付金	303	296	7	2.2%
地方消費税交付金	181	174	7	4.0%
歳入合計	3,608	3,631	▲23	▲0.6%

決算 ～決算の概要（令和4年度普通会計決算 歳出）～

Point

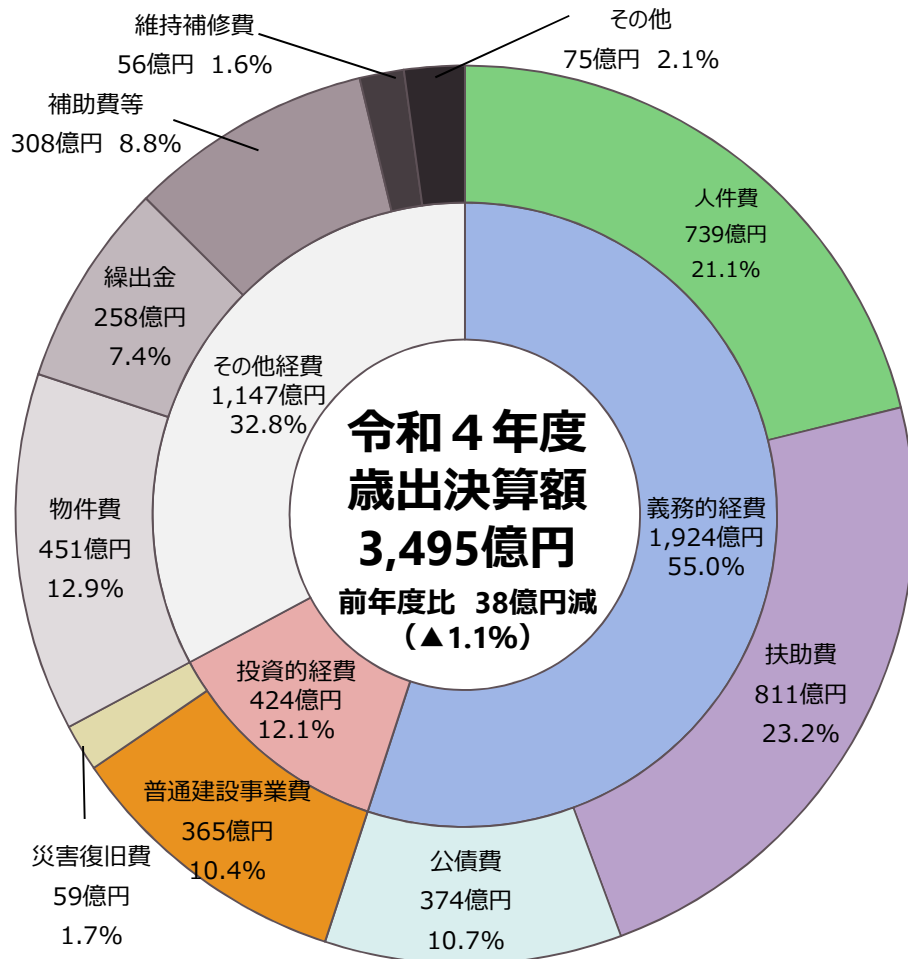
①

義務的経費：子育て世帯等への給付金の終了等の扶助費の減少等により、前年度比51億円（2.6%）の減

Point

②

投資的経費：災害復旧費の増加により、前年度比26億円（6.6%）の増

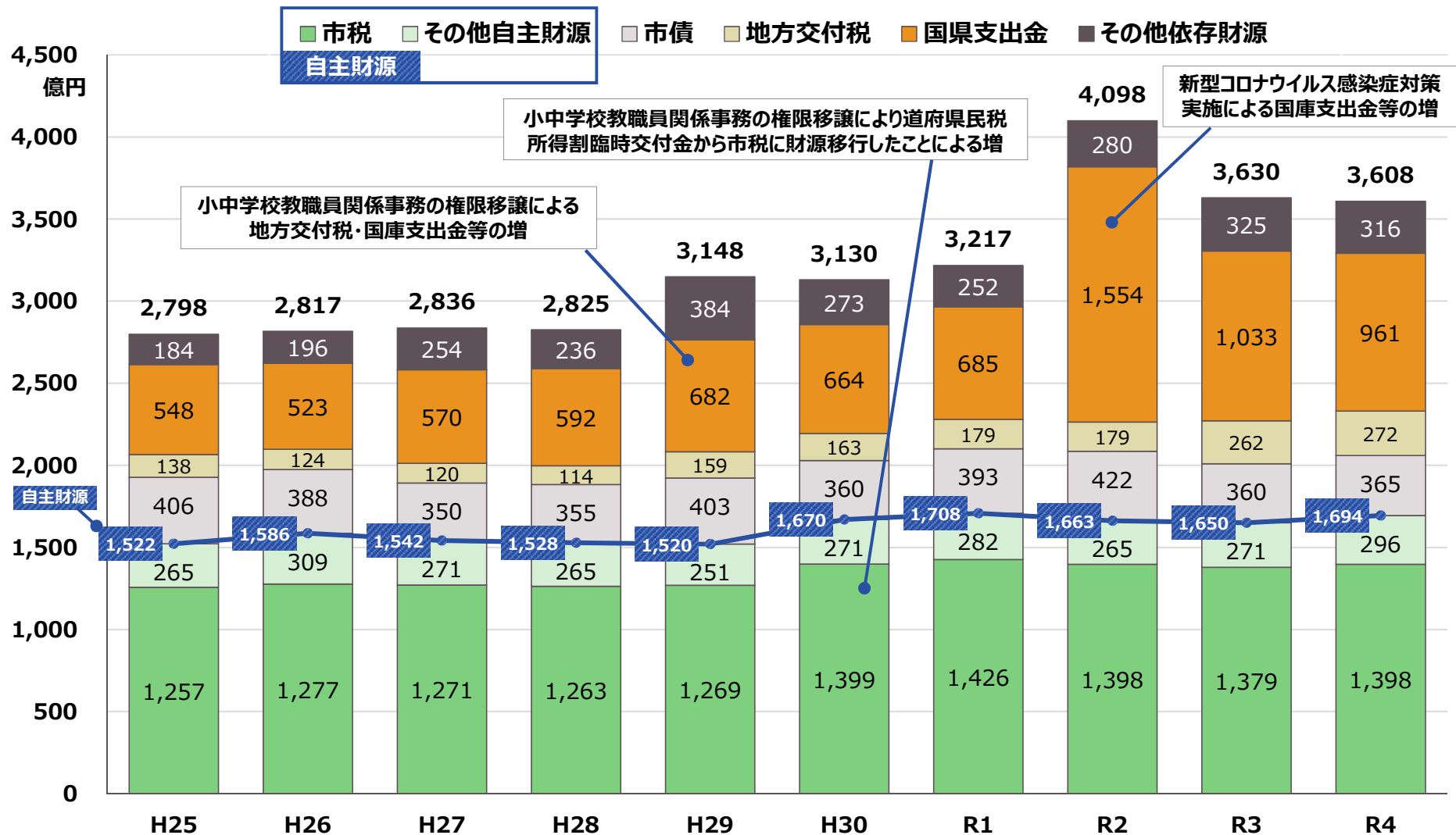


主な歳出の状況（億円）

	R 4	R 3	増減	増減率
義務的経費	1,924	1,975	▲ 51	▲ 2.6%
人件費	739	744	▲ 5	▲ 0.6%
扶助費	811	867	▲ 56	▲ 6.5%
公債費	374	364	10	2.7%
投資的経費	424	398	26	6.6%
普通建設事業費	365	381	▲ 16	▲ 4.4%
災害復旧費	59	16	43	261.5%
その他経費	1,147	1,160	▲ 13	▲ 1.1%
物件費	451	445	6	1.3%
補助費等	308	273	35	12.6%
繰出金	258	254	4	1.2%
積立金	50	115	▲ 65	▲ 56.4%
歳出合計	3,495	3,533	▲ 38	▲ 1.1%

決算 ～決算の推移（普通会計 歳入）～

Point 自主財源を安定して確保



決算 ～決算の推移（普通会計 歳出）～

Point

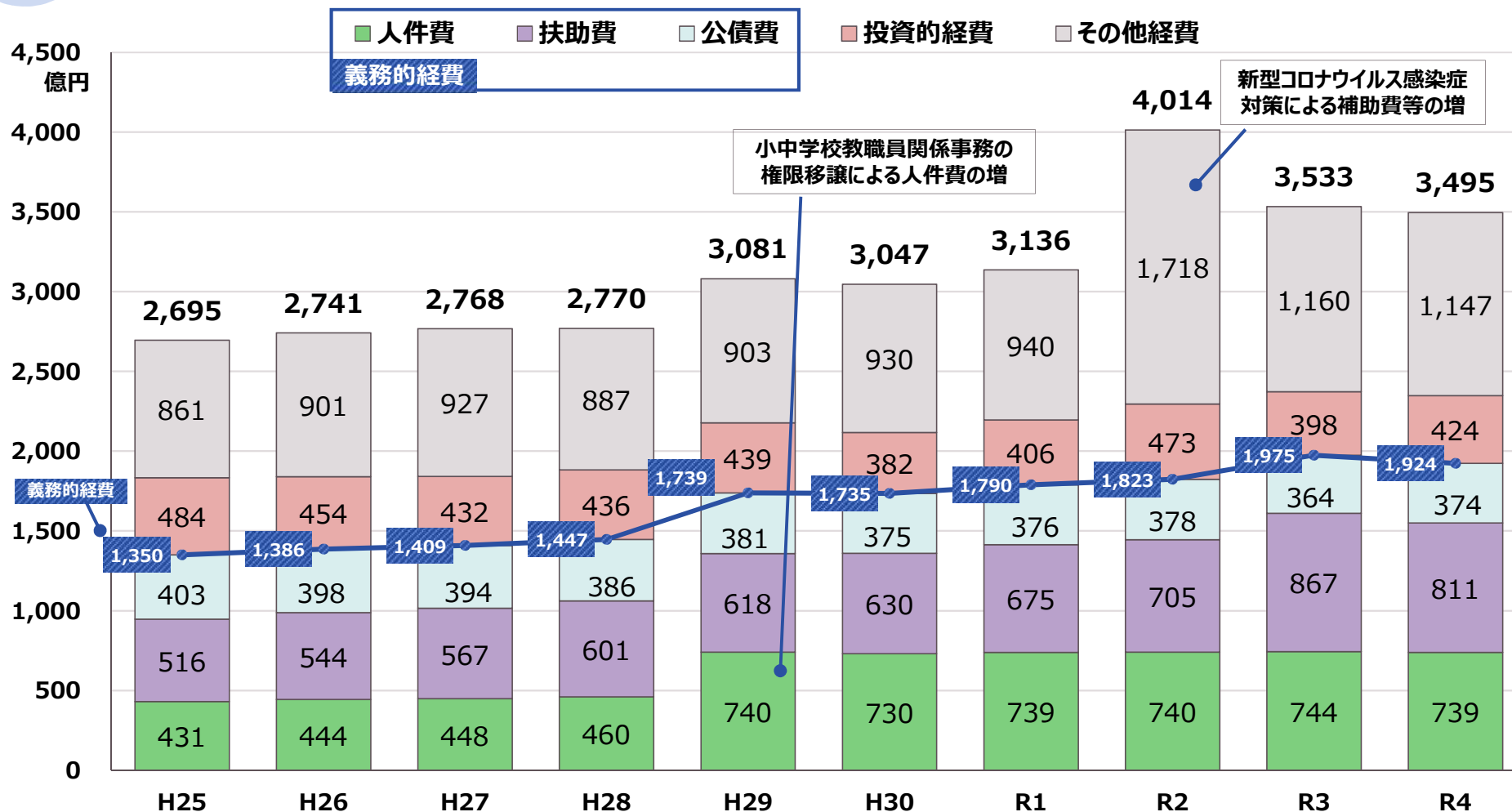
①

義務的経費：公債費、人件費は横ばい、扶助費は増加傾向で推移しており、義務的経費全体では増加傾向

Point

②

投資的経費：各年度400億円台で推移、令和4年度は台風15号被害に対する災害復旧等により前年度と比べ増加



決算 ～市税の推移～

Point

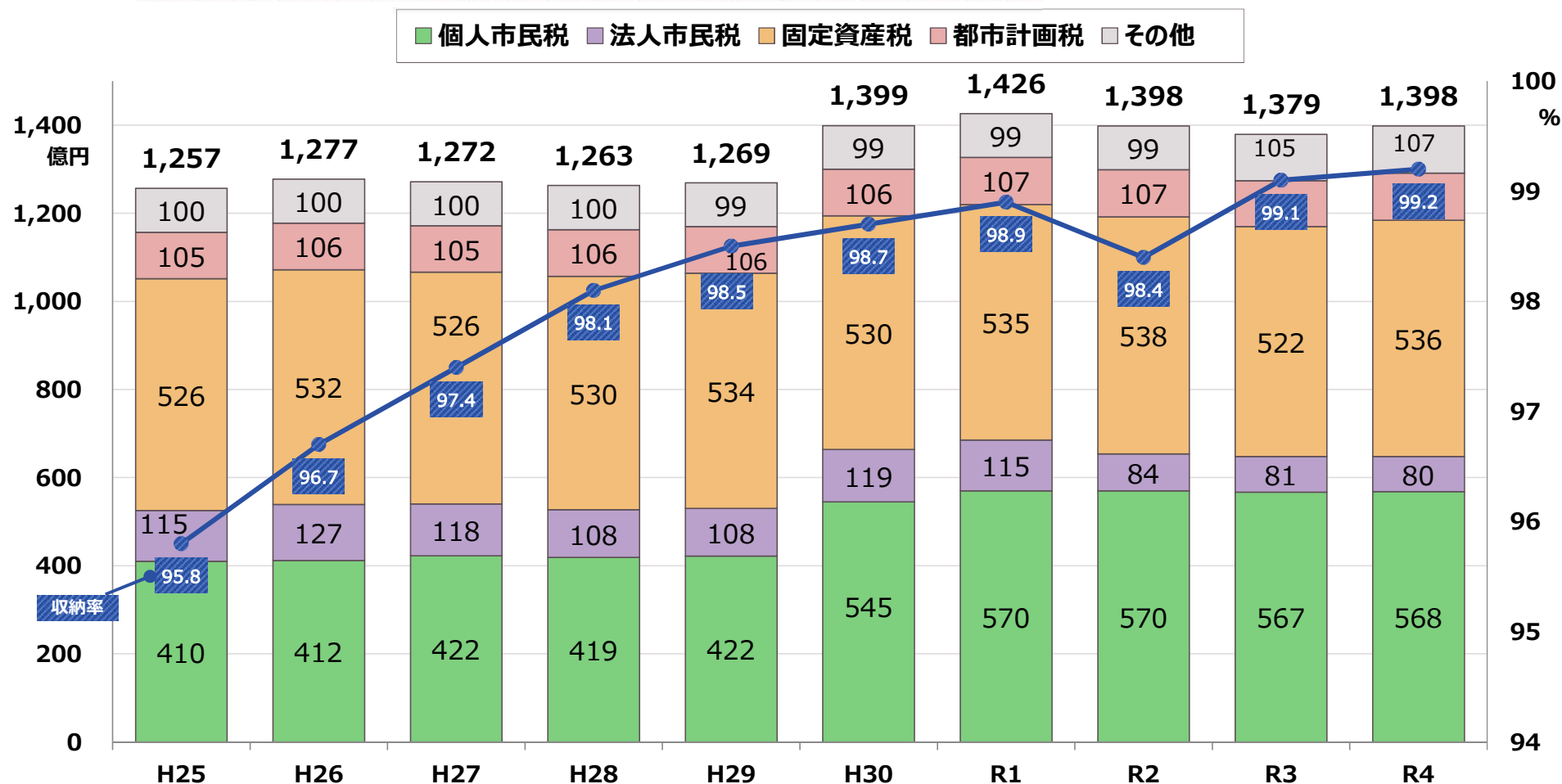
市税収納率は上昇傾向

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症緊急対策による特例減免が終了したによる固定資産税の増などにより増加

収納率向上への取組

滞納案件に対する早期対応の強化、スケジュールに沿った進捗管理の徹底

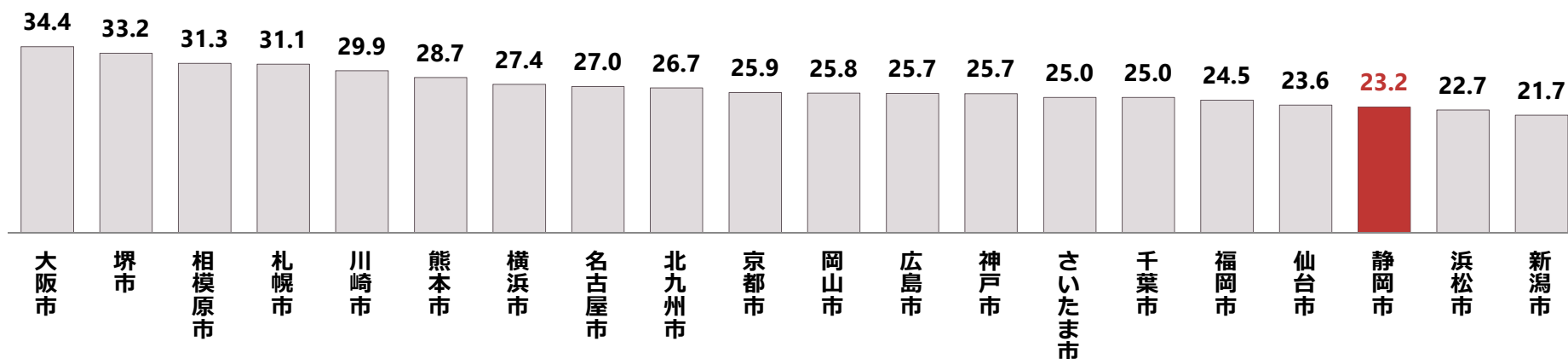
専門部署を設け、不動産公売等を積極的に実施



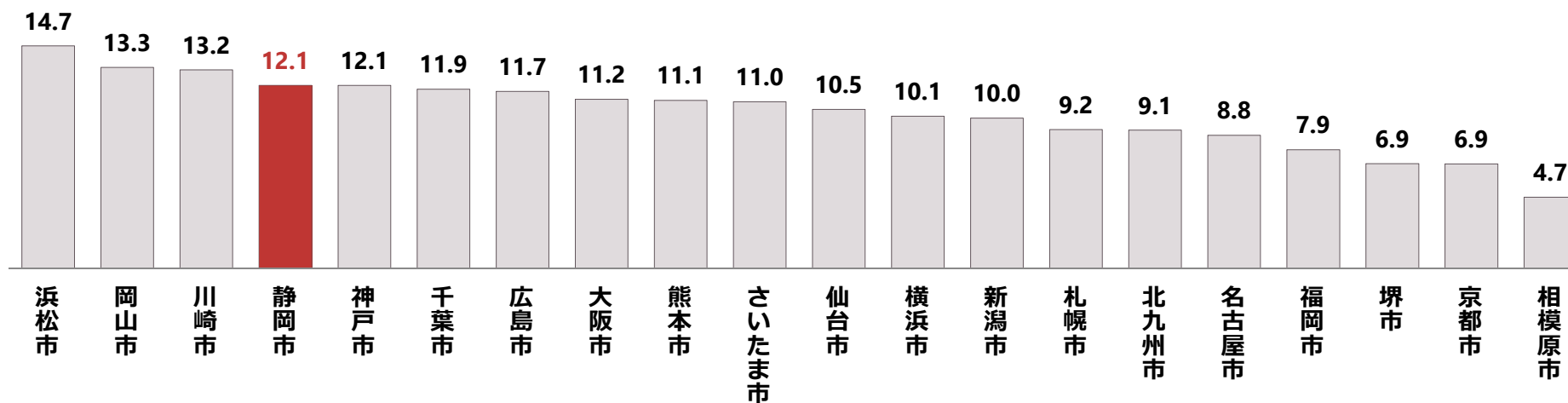
扶助費及び投資的経費の政令市比較

Point 歳出総額に占める扶助費の割合は、政令市中3番目に低く、投資的経費の割合は、政令市中4番目に高い

歳出総額に占める扶助費の割合 (%)



歳出総額に占める投資的経費の割合 (%)



市債の状況 ～市債発行額の推移（普通会計）～

Point

①

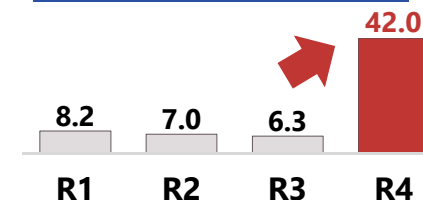
臨時財政対策債を除く市債発行額：令和4年度は台風15号被災により増加

Point

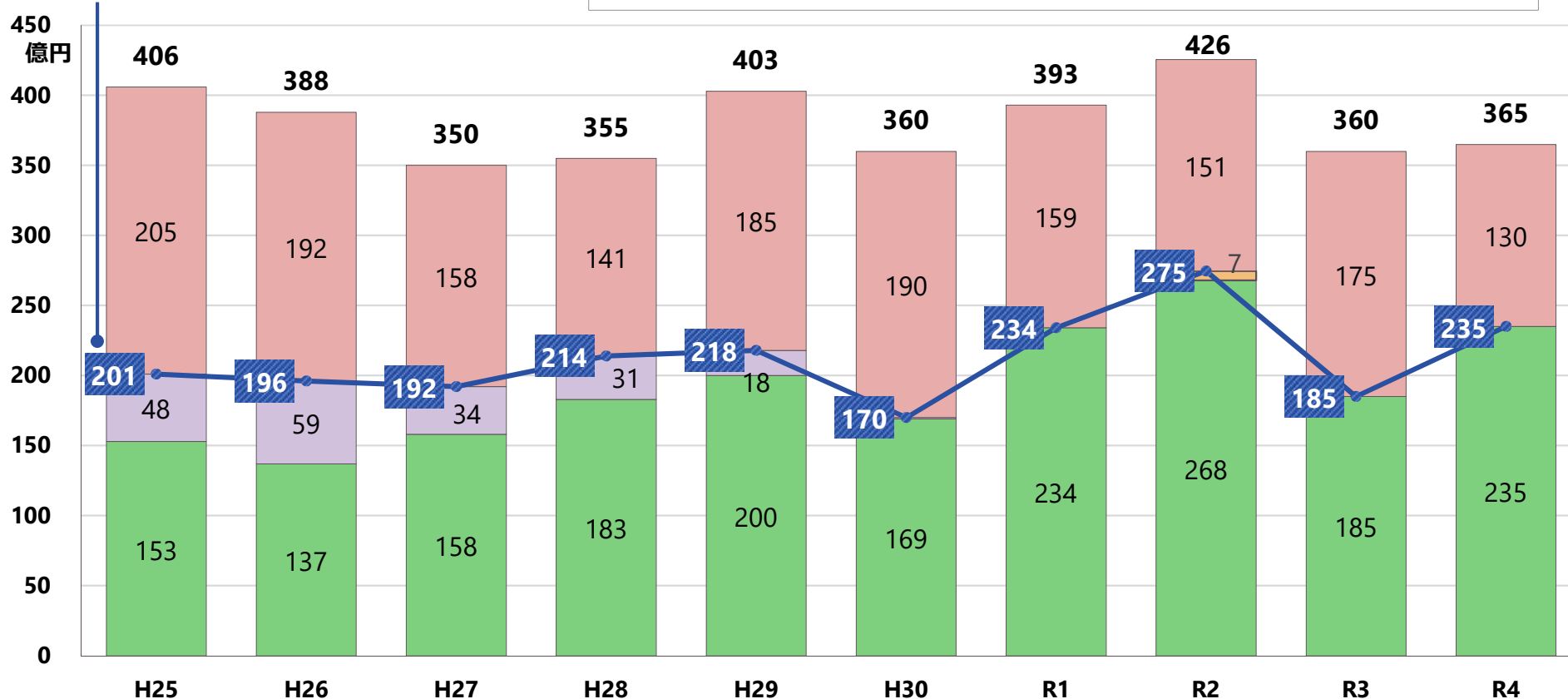
②

交付税措置のない市債の発行を抑制し、市債発行額を適正に管理

災害復旧債の発行推移（億円）



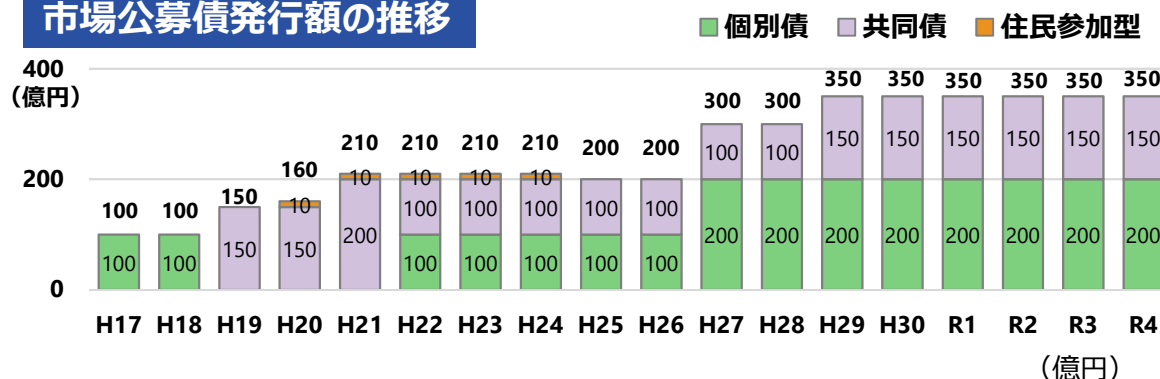
臨時財政対策債を除く市債発行額



静岡市の市場公募地方債発行実績

- 平成17年度より毎年度市場公募債を発行
- 個別債についてはシ団引受方式で発行
- H20～H24は住民参加型市場公募債を発行
(動物園改修事業に充当)

市場公募債発行額の推移



令和5年度の市場公募債発行計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別債								200					200
共同債 (通常分)			30		30		50				40		150
共同債 (グリーンボンド)												15	15
合計	0	0	30	0	30	0	50	200	0	0	40	15	365

※個別債について、上記金額とは別でフレックス枠（50億）を設定

グリーン共同発行市場公募地方債（グリーン共同債）の発行

- 令和5年度より発行となるグリーン共同債に静岡市も参加。発行予定額は15億円
- 清掃工場の基幹的設備改修等、環境改善効果が見込まれる事業を充当

充当予定事業

- 沼上清掃工場基幹的設備改修事業（廃棄物処理時のCO2排出量を削減）
- 庁舎等の照明設備LED化、空調設備更新（省エネ性能の高い機器への更新）



沼上清掃工場基幹的設備改修事業（令和5年9月完成）

市債の状況 ～市債残高の推移（普通会計）～

Point
①

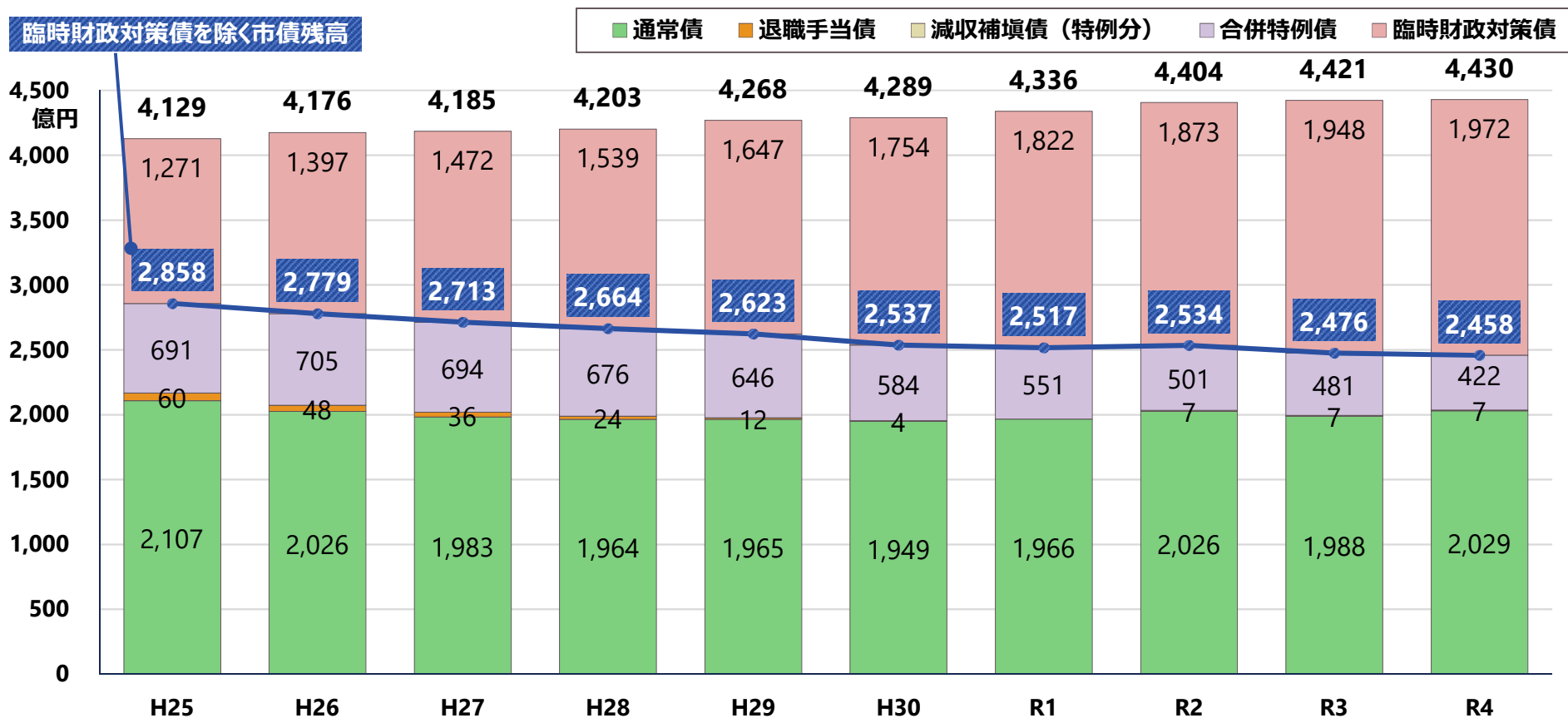
臨時財政対策債を除く市債残高は、適正な管理により減少傾向
令和4年度決算時の市民一人あたりの市債残高は359千円

Point
②

臨時財政対策債の累増により、市債残高は増加傾向

第1位	浜松市	144千円	第4位	岡山市	252千円
第2位	相模原市	156千円	第5位	札幌市	282千円
第3位	さいたま市	215千円	第8位	静岡市	359千円
政令市平均					400千円

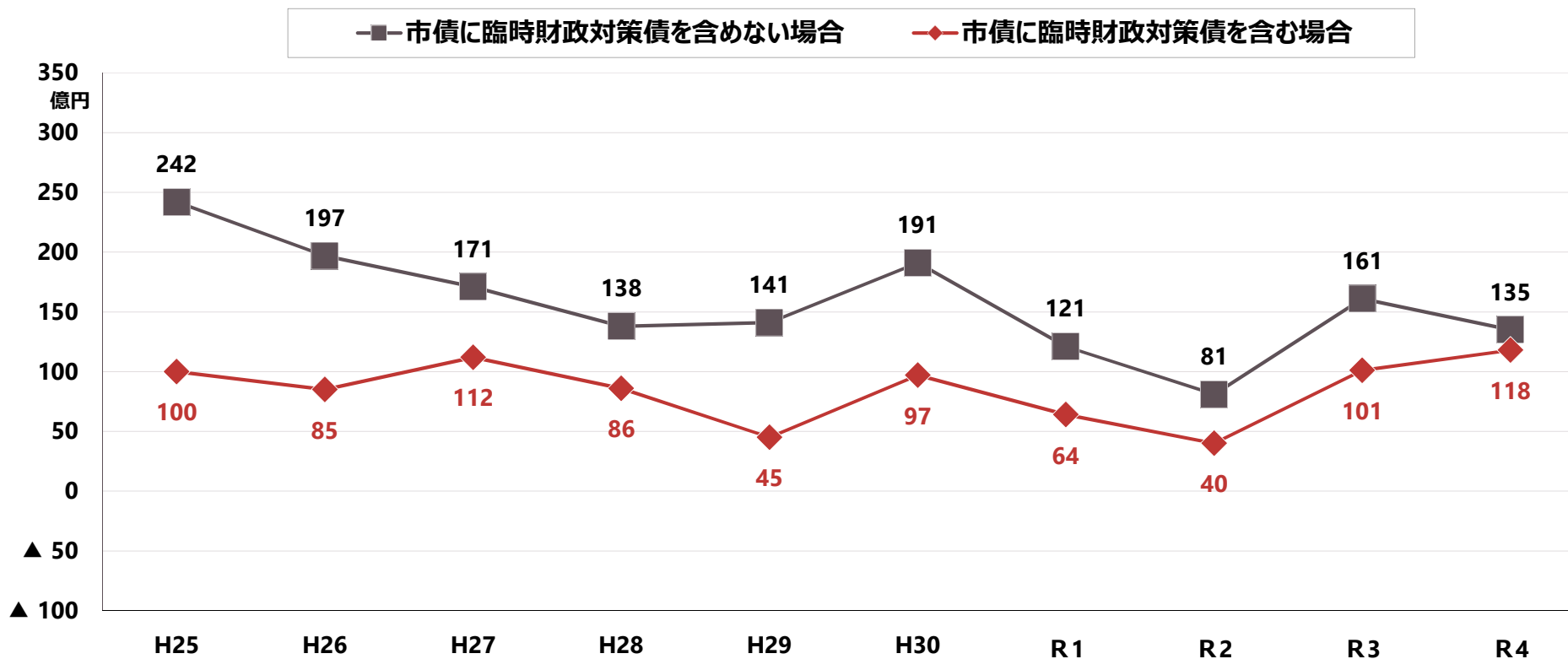
※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものとして算出（理論残高）



Point 臨時財政対策債を含めても黒字を堅持

プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは

- 市債を除いた歳入と公債費を除いた歳出との差引額で算出（歳入総額－市債）－（歳出総額－公債費）
- プライマリーバランスが黒字＝公債費以外の歳出を市債以外の歳入で賄うことができている
- 決算時において、臨時財政対策債を含む場合と含まない場合どちらにおいても黒字を堅持

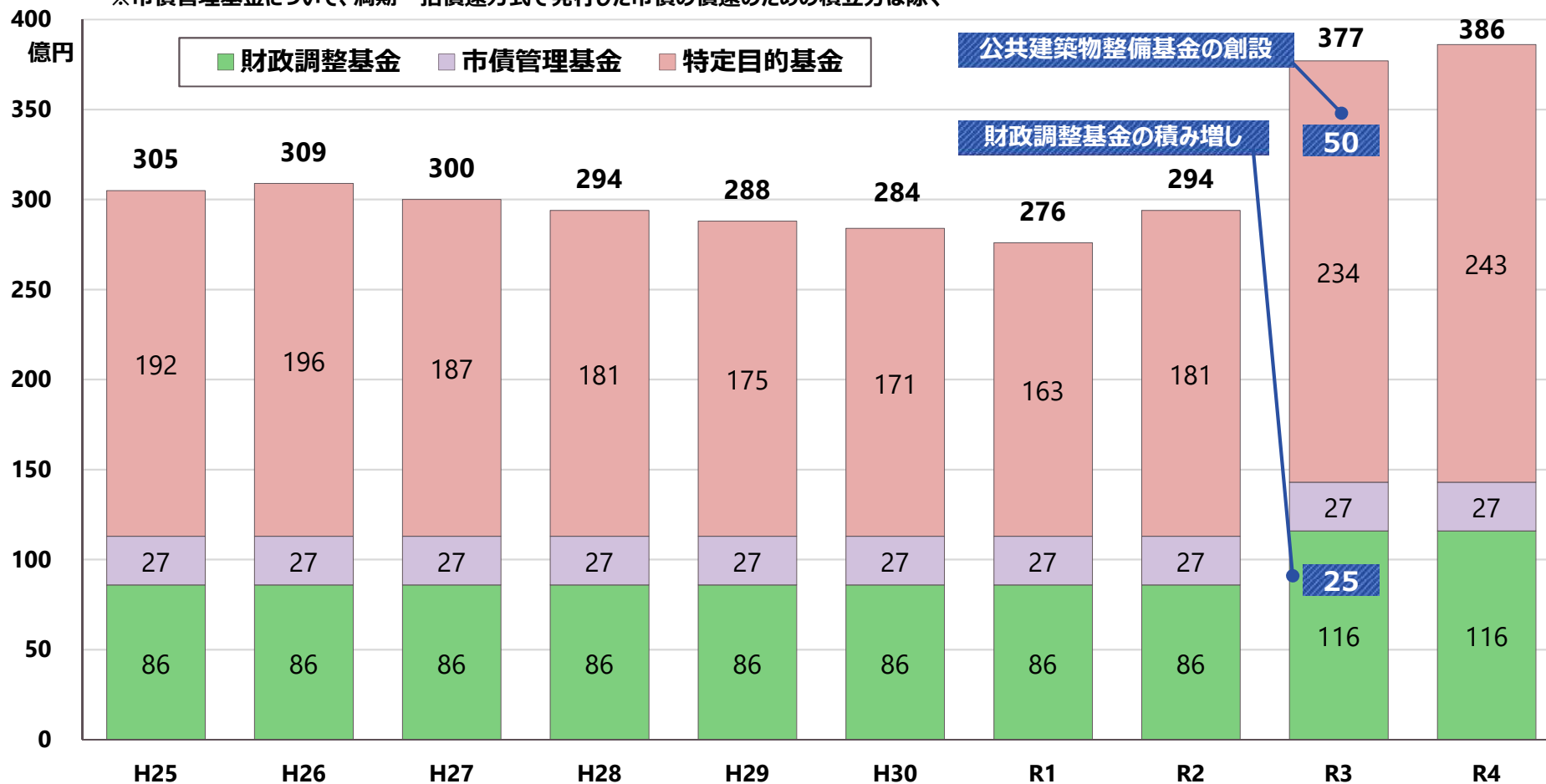


基金の状況 ～基金残高の推移～

Point 安定して基金残高を確保、令和3年度に公共建築物整備基金の創設や財政調整基金の積み増しにより増加

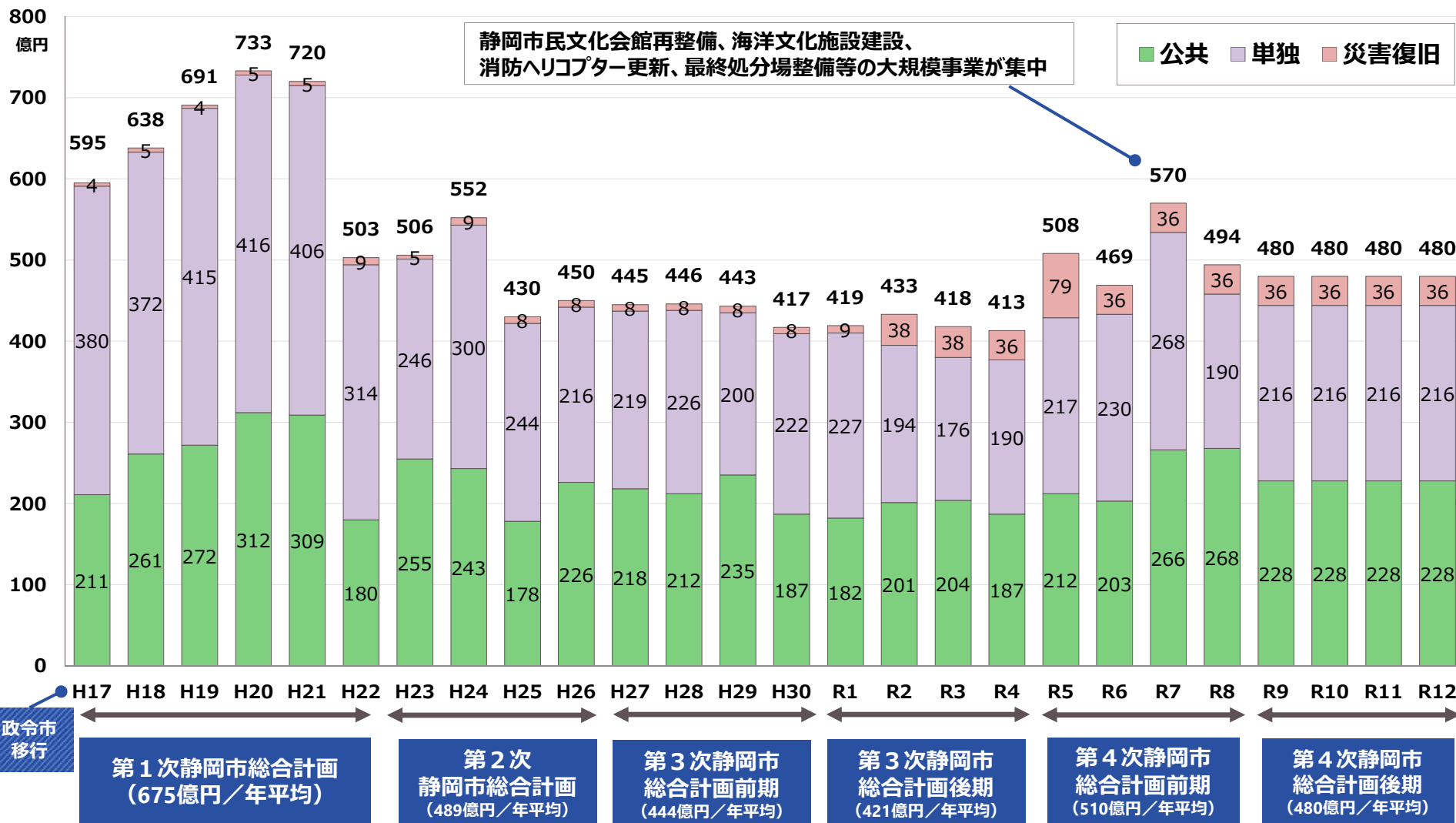
- 財政調整基金：令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策のための取崩により1億円まで減少したことを踏まえた積み増し
- 公共建築物整備基金：公共建築物の長寿命化や更新に備えるために創設（普通交付税再算定の影響等による留保財源を活用）

※市債管理基金について、満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立分は除く



投資的経費の推移（当初予算ベース）

Point 投資水準を抑制しつつも一定額を確保、今後は令和7年度に大規模事業が集中しているため事業費が突出

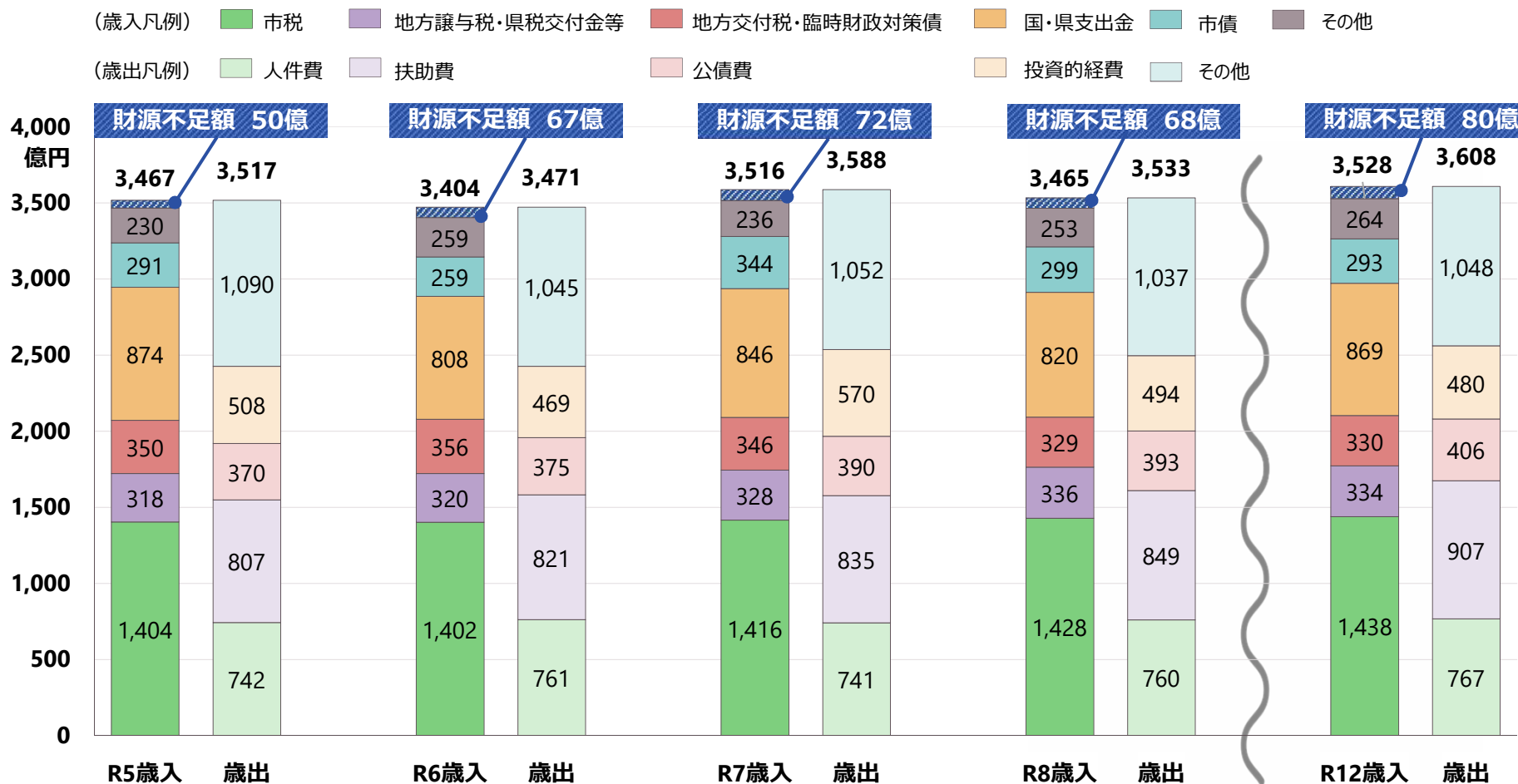


Point

一般財源の大幅な増額は見込めず、扶助費や公債費の増加等により、財源不足額は拡大
 第4次行財政改革前期実施計画（令和5～8年度）に基づく取組の実施、基金の活用等により財源不足に対応

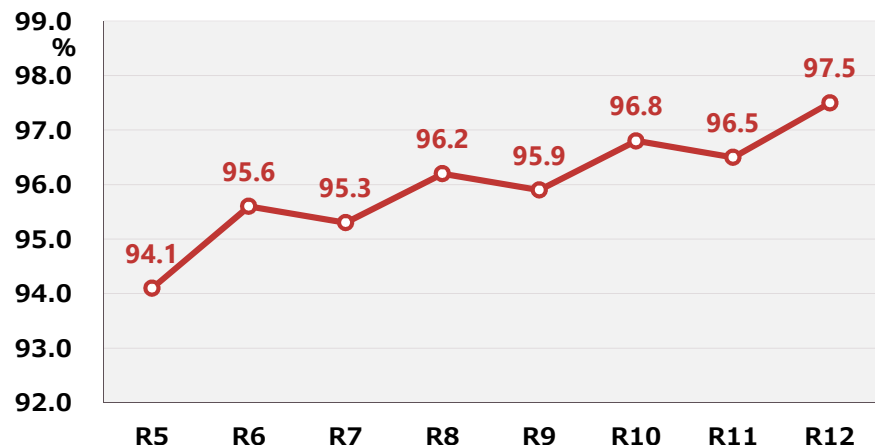
財政の中期見通しとは

- 国の経済見通し等を基にした一定の条件により、令和5～12年度までの一般会計の財政収支を機械的に試算



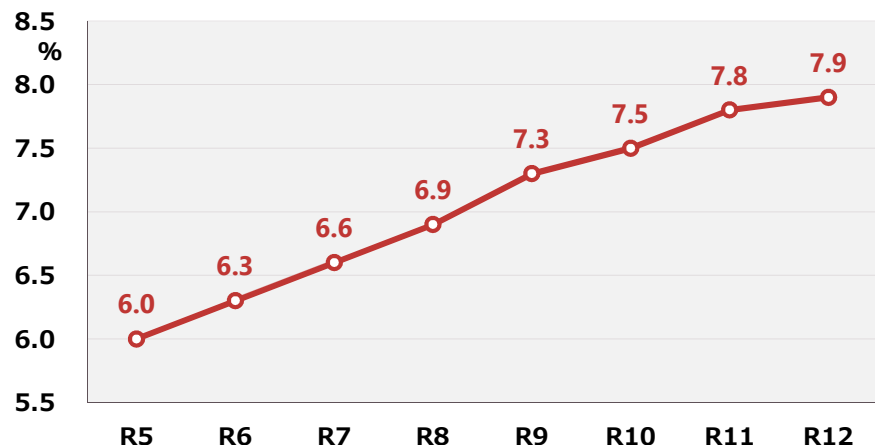
経常収支比率

経常的に収入される財源は横ばいで推移
扶助費、公債費の増加により、経常収支比率も増加



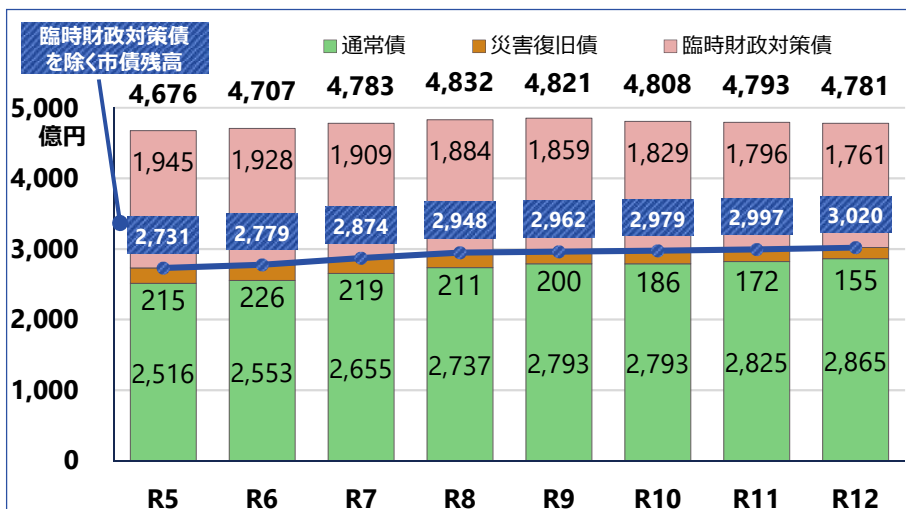
実質公債費比率

標準財政規模はほぼ横ばいで推移
公債費の増加により、実質公債費比率も増加



年度末市債残高

投資的経費に連動して増加
臨時財政対策債については減少



※満期一括償還方式で発行した市債の償還のための積立金は、償還したものと算出（理論残高）

財源不足への対応

- **第4次静岡市行財政改革前期実施計画に基づく取組の実施**
行政DXの推進による業務効率化（ペーパーレスの推進 等）
官民連携の推進及び民間活力の活用（道路照明LED化 等）
- **アセットマネジメント基本方針に基づく第2次アクションプランの着実な実施**
総資産量の適正化（小中一貫校整備 等）
長寿命化の推進（静岡市民文化会館再整備 等）
- **雇用拡大・就労促進・健康づくりなどによる扶助費の増加への対処**
健康寿命の延伸（静岡型MCI（軽度認知障害）改善プログラム普及事業 等）
- **利用可能な基金の活用、適切な予算の執行管理**
財政調整基金等の活用、歳出の効率的な執行、歳入予算の確実な確保 等



お問い合わせ先

※ 本資料に掲載する内容について、無断複写・転載はご遠慮ください

静岡市財政局財政部財政課
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

TEL 054-221-1026

FAX 054-221-1749

E-mail zaisei@city.shizuoka.lg.jp

(裏表紙の写真) 左下から時計回りに

世界文化遺産登録されている富士山の構成資産である「三保の松原」

南アルプスの麓に位置する「井川湖と井川大橋」

徳川家康公が祀られる神社として国宝指定を受けている「久能山東照宮」

富士山をバックに駿河湾を航行する客船「ゴールデン・プリンセス号」